

5.1 チェック弁の洗浄

ポンプ部の送液時の脈動や圧力変動が大きくなった場合は、チェック弁を洗浄してください。

【用意するもの】

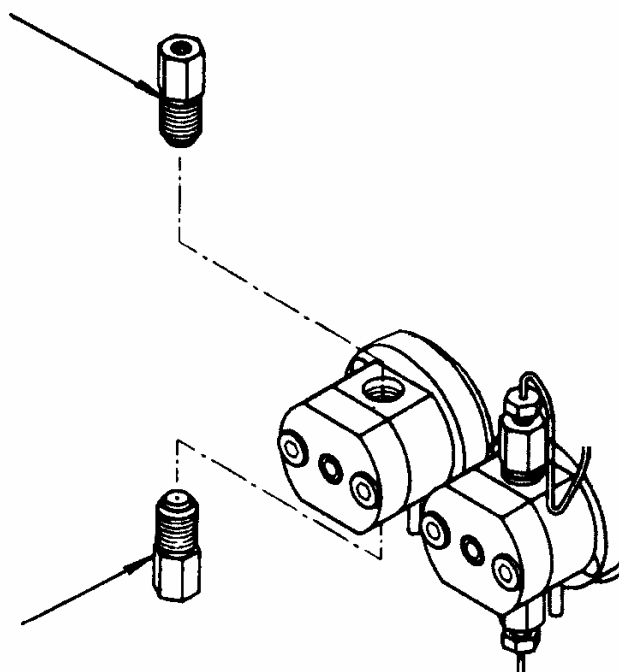
両口スパナ 8×10mm	(品番：008280)	1個	付属品
オシネユニオン	(品番：007337)	1個	
ハンディコネクタ	(品番：016566)	2個	
蒸留水またはエタノール		適量	
溶媒瓶		1個	
ビーカ		1個	
抵抗管		1個	

【手順】

- 1) ポンプ部の送液を停止します。
- 2) カラムが取り付けられている場合は取り外し、抵抗管を取り付けます。
- 3) 系内の溶媒を蒸留水またはエタノールに置換します。
- 4) 溶媒吸引配管を溶媒瓶から抜き出します。
- 5) 両口スパナを用いてチェック弁に接続された配管を外します。
- 6) 両口スパナを用いて、チェック弁をポンプヘッドから取り外します。

チェック弁（吐出）

チェック弁（吸引）



5.1 チェック弁の洗浄

- 7) 取り外したチェック弁を蒸留水またはエタノールが入ったビーカーに浸し、超音波洗浄します。
- 8) 両口スパナを用いて、チェック弁をポンプヘッドに取り付けます。
- 9) 両口スパナを用いて配管を取り付けます。
- 10) 溶媒吸引配管を溶媒瓶に差し込み、呼び水（2.30 ポンプ部の溶媒置換の項を参照）を行います。
- 11) 流速を 2mL/min に設定し、ドレインを開いて 5 分程度送液し、その後ドレインを締めて 10 分程度送液します。この時、配管接続部に漏れがないことを確認します。
- 12) 系内の蒸留水またはエタノールを測定用溶媒に置換します。



- ・ 系内の溶媒置換では溶媒の混和性を事前に確認してください。